

西建協だより

321号

2021年4月



西多摩建設業協会が発足

西多摩建設業協会 理事長 榎 森 厚 志

令和3年4月1日、西多摩建設業協会が発足しました。

地元に建設重機とオペレーターを配置し常に連携できる建設企業群が西多摩八市町村には存在し、自然災害への緊急対応にとどまらず道路や河川といった都市インフラを常日頃から守っています。その主たる企業が西多摩建設業協会を構成しています。

西多摩は山岳地域を抱えるため、多くの建設事業者が存在しているのが当然のように思われかもしれませんが、それは違います。多いなる先達の努力と継承がなければ今の姿は実現していませんでした。我々はそのことをしっかりと自覚し努力していかなければ早晚、この企業群はなくなるかもしれません。

西多摩地域の建設業とその団体

今次、発足した西多摩建設業協会は、協同組合法の登記団体に昭和41年になりました。それから70余年、その母体の団体の歴史をくわえると優に100年を超えました。協同組合の当初は、共同受注などで地元建設業の各社がネットワークをつくり、相互理解・相互扶助の精神をもって切磋琢磨し技術力や経営力を向上させてきました。それが地域や行政の信頼を得て、地域全体の建設産業の

底上げをもしました。また、地域経済の活性化にも大きく寄与してきたと考えます。共同受注は昭和の終わりと期をあわせるようになっていきました。それらによって力を付けてきた地元建設事業者が地域貢献という視点を更に強化していききました。建設事業者同士の協同を礎に、都市基盤の維持管理を担っているという自負のもと公益性を追求することにより企業集団としても成長をし、地元

に根差した多くの良質な建設企業を西多摩に残してきました。集団としても多くの地域貢献、公益性の高い事業をしてきました。防災意識の普及、技術講習会、工事安全パトロール、児童福祉施設への慰問などの多くの地域貢献事業の展開もしてきました。実施を確実にするため平成6年には四つの委員会を設置し、毎月一回、四半世紀欠かさず開催し事業を企画実施しています。また、広報媒体として「西建協だより」という広報紙を毎月発行してきました。現在321号になります。そこで、本来でしたらこの号は第一号として発行されるのでしようが、あえて321号という通し番号で発行をさせていただいています。

地元建設事業の維持発展のために

さて、それぞれの企業をみるとこの協

会に参加する企業の多くは家業として運営しています。様々の職種で後継ぎが問題になり、当協会の企業も御多分にもれず不安を抱えながらも企業を継承してきています。100年を越える会社も数社あります。家業経営の是非はあるものの、この継続性は地域からの信頼性の証であると考えます。ただ、そのことに甘んじれば早晩、時代に取り残され非効率で化石のような企業集団にもなりかねないと思います。働き方改革、女性登用の促進などにとどまらずコロナ禍以降は更に建設業や経営管理に対する新しい様式や考え方がでてくるでしょう。それらを取捨する気概が必要と考えます。そのため重要なことは、地域をどうすればよくなるのか、社会をどうすればよくなるのか。そのためには、我々企業はどうすべきか。我々が地元のインフラを守り自然災害からの防災環境を向上させる志をもって企業経営に取り組むなかで、互いが切磋琢磨すれば、自ずとそこで熟成した意見は行政や政治を動かし、社会を変える力になるのではないかと浅学非才の身でありながらも思います。

行政や政治に依存や依頼をするのではなく、緊張感をもって意見交換をしていくことが必要と考え、そのなかでこそ、行政や社会からの信頼も向上させることが出来るのではないかと考えます。これらのことは、一企業で取組むのは困難です。そのために地域インフラを守り向上させるという志を同じにするものが集まり、公共を担うという自負と責任のもと西多摩地域八市町村が社会的にも経済的にも充実するなかで、自らも発展する循環をつくることを目指していかねばならないと考えます。

地域社会の持続的発展のために

SDGsをはじめ西多摩地域だけでなく日本や世界にもっともとめられてることは社会の持続性のある発展です。家業として地域に根差し発展していくことは、地域の社会基盤を整備保全していくだけでなく、地域経済の持続性ある活性化にも大いに繋がるはずです。

西多摩地域には、先達の残した西多摩建設業協同組合があり、そしてそれを種として西多摩建設業協会が発足できました。それをどのように活用していくかが問われています。

関係各機関の皆様、西多摩建設業協同組合役員経験者の皆様より、お言葉を頂いておりますので掲載いたします。

社団法人西多摩建設業協会の発足によせて

東京都西多摩建設事務所長 高橋 宏 彰

西多摩建設事務所長として4月1日付で着任いたしました高橋宏彰でございます。平素より当事務所の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびは、一般社団法人西多摩建設業協会の発足、誠におめでとうございます。70年以上にもわたり協同組合として

築き上げてこられた歴史に、新たな一ページが加わったわけですが、これまで果たされてきた、西多摩地域における建設業の発展、地域経済や防災・減災、環境保全等の社会貢献といった役割を一層強力に推進されることを大いに期待しております。

新型コロナウイルス感染症の猛威が続

会員相互が認め合い、助け合いながら、更に知恵と力が結集していけるようにしていくことが重要です。そのためには、一つは我々のなかで生産的な議論が更に活発にできる環境をつくること。そしてもう一つ大事なことは、外部に開かれていくことです。激励だけでなく外部からの苦言にも大いに耳を傾け正面から向き合い、真摯に考え取り組むべきと考えています。

これまでにもまして、ご指導のほど、皆様にはお願いし、社団法人西多摩建設業協会の発足のご挨拶といたします。

く中でも、当事務所は、西多摩地域の防災、減災に資する事業や道路・河川の維持管理を工夫しながら行っておりました。令和3年度においても、状況を踏まえながら、事業をしっかりと進めてまいります。

一昨年10月の台風19号の深刻な道路・河川被害は、協会所属の建設業各社の皆様のご尽力で概ね被災箇所が完了しつつあります。改めて御礼申し上げます。

東部市街地では、安全で円滑な道路ネットワークの形成を目指して、青梅3・4・4号、福生3・30号などの整備を引き続き進めてまいります。山間部では、

災害時等の代替路となるダブルルート化を図り、梅ヶ谷トンネルの掘削工事、多摩川南岸道路（丹三郎）、秋川南岸道路（下元郷）の整備を引き続き進めてまいります。また、維持管理の面では、老朽化した橋梁やトンネルについて計画的に長寿命化工事を実施するとともに、山岳道路において、日常点検等で斜面の状況を的確に把握し、計画的な道路災害防除工事を実施し、一層の安全性向上を図ってまいります。

このほか、砂防事業、急傾斜地崩壊防止事業や河川事業にも引き続き積極的に取り組んでまいります。

ご案内のとおり、昨今の災害被害の多発化、大規模化、広範囲化の傾向や少子高齢化を背景とした人手不足や働き方改革の進展などの環境変化の中で、質の高い社会資本整備を迅速・的確に行っていく体制を維持していくことには困難が伴います。地域の担い手である協会各社の皆様と我々行政とが一緒に知恵を出し合って、新たな時代を切り開いていければと願っています。

本年度も引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



一般社団法人西多摩建設業協会の 設立を祝して

東京都森林事務所長 渡邊 俊夫

このたび、西多摩建設業協同組合が一般社団法人西多摩建設業協会を設立されましたことを、心よりお祝い申し上げます。また、社員の皆様におかれましては、西多摩地域の発展のため、日頃からご尽力を賜り深く感謝いたします。

さて、世界中に広がった新型コロナウイルスの猛威は未だに衰えを知らず、感染防止のため、私たちの日常生活に「新しい生活様式」の実践が求められています。また、経済活動にも大きな影響が及び、森林事務所の発注工事では、止むを得ず延期や中止を強いられ、感染症対策の徹底を図らなければならなかったりするなど、これまで経験したことのない事態が生じています。

このような状況の中、森林事務所では、昨年度、治山施設や林道で多くの工事を発注しました。一昨年の台風19号により大崩落を起こした青梅市の御岳地区では、3件の緊急治山工事が無事に完了いたしました。この工事には、土地所有者や地域住民の方々から早期復旧が強く求められていましたが、期待に応えることができました。また、長年にわたり工事を進めてきた奥多摩町にある梅沢寸庭林道が、台風19号による中断を経て全線開通しま

した。この林道は、都道が通行止めになった場合に、迂回路としての役割を果たすことができます。その他の発注工事でも概ね円滑に進捗させることができましたが、これは工事に関係した社員の皆様のご協力があったることと御礼申し上げます。

近年、自然災害が頻発し被害も激甚化していることから、防災・減災対策や社会インフラの老朽化対策を推進し、最悪の事態を念頭に、平時から備えることが重要になっています。

都におきましては、「都有施設等総合管理方針」に基づき、関係局がインフラ等の機能維持・強化に取り組んでいるところです。森林事務所が所管する治山施設や林道につきましても、求められる機能を適切かつ長期に発揮させるため、昨年度策定した「個別施設計画」に基づき、今年度から計画的に必要な対策を適切に実施してまいります。地域住民の安全確保と地域の振興を図るため、引き続き皆様のお力添えをいただくと幸いです。

終わりに、一般社団法人西多摩建設業協会の益々のご発展、並びに社員の皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

お祝いの言葉

奥多摩町長 師岡 伸公

一般社団法人西多摩建設業協会の設立を心よりお慶び申し上げます。

法人設立にご尽力されました、榎森理事長を始め役員皆様、会員皆様に敬意を表する次第でございます。

さて、近年は、大型台風や前線の影響による大雨、局地的なゲリラ豪雨、大雪等による自然災害が全国各地で発生しております。また、多くの尊い命が失われた、東日本大震災から10年の月日が流れましたが、今もなお、東北地方では大きな地震が発生しており、東京都においても首都直下型地震などの大きな災害へとつながる地震の発生が懸念されております。

ここ西多摩地域においても平成26年2月には過去に例を見ない大雪による災害、令和元年10月には台風第19号の記録的な大雨による甚大な被害が発生した事は記憶に新しいところでございます。災害の発生時においては、建設事業者の皆様には、道路・上下水道等のライフラインの早期復旧に献身的に対応いただき、改

めて敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。

貴協会の定款を拝見しますと、「地域の防災、減災及び環境保全に関する社会的事業に取り組み、公共の福祉の増進に寄与し地域に貢献すること」が目的にあり、建設技術や建設事業の発展はもとより、自然災害等への対策などにつきましても、事業として掲げられております。

地球温暖化の影響により、今後さらに大きな災害が発生する事が懸念されておりますが、予測が困難な自然災害へ備えるため、町としては、地域防災計画の見直しを行い、災害に強い町づくりを進めてまいります。災害への対策、対応につきましては、貴協会の会員である建設事業者皆様のお力添えが必要不可欠からざるものでございますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会並びに会員各企業のますますの御発展を祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。



西多摩建設業協会設立に寄せて

青梅市長 浜 中 啓 一

この度は、一般社団法人西多摩建設業協会の設立、誠におめでとうございます。貴協会の前身であります、西多摩建設業協同組合につきましては、創立以来七十有余年の長きにわたり、土木・建築事業を通じて西多摩地域の基盤整備や災害復旧等にご尽力され、地域の発展に多大なる貢献をされてきたことに感謝申し上げます。今後は、貴協会が、その任を引き継がれるとのことであり、誠に心強く感じているところでございます。

さて、この西多摩地域は、山や川などの豊かな自然を有しており、都心からも近く、優れた生活環境が大きな魅力の一つであります。また、圏央道が整備され、高速道路網へのアクセスが強化したことで、交通の利便性にも優れた地域となり、経済活動による更なる発展が大いに期待されると認識しております。

しかしながら、過去には幾度も自然災害に見舞われており、近年では平成25年8月の台風9号や令和元年10月の台風19号による大雨で土砂災害や道路の寸断などを経験しました。今後も更に激甚化・頻発化が懸念される自然災害への備えが、喫緊の課題であると捉えております。

さらに、昨年来、猛威を振るっております新型コロナウイルス感染症による影響は現在もなお継続しており、先が見え



ない状況の中、当局におきましても市民生活や地域経済等を守るため、あらゆる対策を模索しながら取り組んでいるところであります。

また同時に、西多摩地域におきましても、コロナ禍における生活環境や社会基盤の整備など幾多の課題が山積している状況にあり、貴協会との継続的な協働は必要であると考えております。

結びに、貴協会が今後も益々の御発展を遂げられますよう、併せて会員の皆様の御健勝を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

協会の隆盛を祈念

花は「さくら」から「つつじ」に代わり、薫風が肌に心地よい季節になってまいりました。

私はこのたび羽村市長に就任いたしました橋本弘山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の終息も見込めない中でのスタートとなりました。まずは4月末から実施が予定の新型コロナウイルス接種が混乱なく確実に遂行されることに全力を尽くしたいと思っております。

このたび従来の西多摩建設業協同組合が一般社団法人西多摩建設業協会に格上げされました。それにより益々その活動内容の充実が図られることをご期待申



一般社団法人西多摩建設業協会の 発足を祝う

福生市長 加 藤 育 男

一般社団法人西多摩建設業協会の発足を心よりお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、多年にわたり西多摩地域の建設業を牽引し、また西多摩の建設業界の発展はもとより、社会経済活動の発展に多大な御貢献をいただきましたことに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

近年日本では、気候変動の影響により大規模災害が増加しており、また、いまだに収束しない新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい状況が続いてお

工事は、大変な困難を伴うものでありますが、被災地の悲願である復旧工事の無事完了をお祈り申し上げます。

他方で西多摩地域に目を向けてみますと、一昨年の台風19号のつめ跡は未だ復旧の叶わない箇所もあり、地域の皆様の不安は現在も続いています。一刻も早い復旧を願うものです。

地球温暖化による風水害による甚大な被害が今後も予測される中、またいつ起こるか予想のつかない首都直下型地震発生の可能性など…、西多摩地域に予測される大きな災害に対していかにその被害を最小限に止めるのかが大きな課題であります。

これからも行政と共に地域の安心安全のためにご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに一般社団法人西多摩建設業協会の益々の隆盛を祈念申し上げます。

現在、市では準備組合による福生駅西口地区市街地再開発事業の支援や、福生駅東口と国道16号線を結ぶ都市計画道路3・4・7号富士見通り線整備事業での用地買収を進め、都市基盤整備の推進に努めております。福生市総合計画(第5期)で目指すまちの姿である「人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさき」の実現に向け、活気あるまちづくりを目指してまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。

そのような状況の中、建設業界の担う役割は非常に重要であり、「地域の防災・減災及び環境保全に関する社会的事業に取り組み、公共の福祉の増進に寄与し地域に貢献すること」を目的として掲げる貴協会は、地域のインフラの維持・整備の担い手であると同時に、地域社会の安全・安心の確保を担う守り手として、なくてはならない存在であると考えております。

行政といたしましても、市民生活の安定に不可欠な都市基盤の維持・整備のため、貴協会としっかりと連携し、西多摩地域が抱える様々な課題の解決に向けて実に取り組んでまいりたいと考えております。

現在、市では準備組合による福生駅西口地区市街地再開発事業の支援や、福生駅東口と国道16号線を結ぶ都市計画道路3・4・7号富士見通り線整備事業での用地買収を進め、都市基盤整備の推進に努めております。福生市総合計画(第5期)で目指すまちの姿である「人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさき」の実現に向け、活気あるまちづくりを目指してまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会並びに会員の皆様のおすすめの御発展を祈念申し上げます、協会発足のお祝いの言葉とさせていただきます。

協会の発展を祈念

瑞穂町長 杉浦 裕之

一般社団法人西多摩建設業協会の設立、誠におめでとうございます。御協会はこれまでも名称の変更はありましたが、

土砂災害や道路冠水、大雪での除雪など、災害対応の担い手として真っ先に取り組みなど、大変感謝しているところです。

100年におよび西多摩地域の発展に多大な貢献をされてきました。西多摩は発展途上にあり、インフラ整備が必要不可欠な地域です。各所で様々な公共事業が行われ、昭和、平成、令和と時代の移りゆく中で、まちの装いも魅力を増して変化してきました。また、工事現場の安全パトロールによる点検や震災時の緊急巡回訓練などの活動を通じて、事故防止や災害対策に備えていると聞いています。

他にも近年では、台風や異常気象による

さて、瑞穂町では本年4月から第5次長期総合計画がスタートしました。「すみたいまち つながるまち あたらしいまち」『そうぞう』しよう みらいにずっとほこれるみずほ』を将来都市像とし、新たなまちの魅力を創成するとともに、持続可能な地域社会を次世代に引き継ぐための10年間とします。

また、同時期に都市計画マスタープランも改定しました。こちらは地区別のまちづくりの方針により20年後の瑞穂町が

一般社団法人西多摩建設業協会 発足を祝して

あきる野市長 村木 英幸

この度は一般社団法人西多摩建設業協会が発足されましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、西多摩建設業協同組合から事業を引き継ぎ、西多摩地域における建設業の発展促進の中心的な役割を担っていくことから、その存在は、西多摩地域全域の建設事業者が結束して地域のインフラを支える一助となり、行政にとって大変心強いものであります。

さて、建設業の社会的な役割は地域産業の発展、環境保全、公共福祉の増進など、多岐にわたりますが、その中の重要

な役割の一つとして、地域の防災・減災への取組が挙げられます。

当市では、一昨年の台風19号において、家屋の河川崩落や住宅の床上浸水に加え、道路や橋りょうの損壊などが市内各地で発生いたしました。

西多摩地域の建設事業者の皆様におかれましては、今もなお災害復旧に向けて、多大なるご協力をいただいております。この場を借りて改めて御礼申し上げます。市といたしましては、この経験から、災害に強い都市基盤整備の重要性を改めて認識したところであり、市民一人ひとりの安全・安心な暮らしを守るために、

お祝いの言葉

日の出町長 田村 みさ子

めざす姿を想像し、より良いまちにするための取組みの方向性を整理しました。多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸が期待される中、瑞穂町では2地区での土地区画整理事業を進めています。道路整備や雨水対策事業も計画的に進め、様々な施策を展開してまいります。

年度も変わりましたが、依然として新型コロナウイルス感染拡大により、人材や製品の不足、それに伴う工期など公共事業にも影響が出てくることと思います。一日も早い収束を祈るとともに、行政としてできる限りの対策と支援をしていきたいと存じます。

結びに、西多摩建設業協会の益々の発展と社員皆様のご健勝をご祈念し、お祝いのあいさつとさせていただきます。

西多摩地域全域の建設事業者の皆様で構成されます、西多摩建設業協同組合がこの度、一般社団法人西多摩建設業協会として新たに発足されたこと、心からお祝い申し上げます。

さて、貴協会につきましては、70年の長きにわたり西多摩地域の「建設業の発展」「地域貢献」「防災・減災」「環境保全」に取り組み、公共の福祉の増進に寄与し地域に貢献することを目的として活動されておりますことを、榎森厚志理事長をはじめ西多摩建設業協同組合の関係者皆さまに対して、深く敬意を表します。

さて、今もなお記憶に残る令和元年10月12日の台風19号の襲来は、西多摩地域に特に多くの被害を発生させました。

日の出町内でも、道路冠水や土砂の流出など多くの災害が発生し、その中でも、町内の中心を流れる平井川の護岸が約100mにわたり崩壊し、河川と並行している都道第184号線も寸断した災害では、道路が完全に通行不能となり、道路に埋設されていた上下水道施設も破

損、流出したことで、崩落現場上流の福祉施設を含む、3つの集落約214世帯、400人余の住民の方々が孤立し、日常生活が奪われる大惨事となりました。

本地域の災害復旧に関しましては、地域の皆様の自助共助と共に、東京都西多摩建設事務所並びに貴協会の関係機関皆さまのご尽力と迅速な対応により、11月5日には片側通行が可能となり、住民の方々の孤立が解消されました。また、今年2月には護岸及び都道が完全復旧されましたことに、改めて関係者の皆様に感謝を申し上げます。

今後も、地球規模の異常気象によるゲリラ豪雨や多発する台風、豪雪などが原因となる様々な災害が心配されますが、専門的な知識と確かな施工技術を持ち合わせた貴協会の活動が、西多摩地域の防災・減災と安全・安心に繋がることと確信しております。

末筆ではありますが、貴協会のさらなるご活躍と益々のご発展・繁栄をお祈り申し上げます。



インフラ保全の協力を

一般社団法人 西多摩建設業協会が本年4月1日から発足し、西多摩建設業協同組合から引き続き様々な事業が実施されることに益々期待しているところであります。

貴協会の設立目的は、西多摩地域における建設業を営む者の技術力、経営能力及び社会性の向上を図り、地域に精通した建設業者が有する技術及び経営資源を活用することにより、経済的、社会的、技術的な向上、建設業の健全なる発展並びに西多摩地域における地域産業の健全な発展に関する事業を行うとともに、地域の防災、減災及び環境保全に関する社会的事業に取り組み、公共の福祉の増進に寄与し地域に貢献することを目的としております。

会員の皆様が相互に研鑽され建設技術の向上等を図っていただき、私共が発注する工事を引き続き適正に施工していただく事はもとより、自然災害への対応力の強化を引き続きお願いいたします。

檜原村においては、平成26年の自衛隊の災害派遣を要請した大雪災害、また、



檜原村長 坂本 義次

記憶に新しいところでは令和元年台風第19号により都道への土砂の流出により通行止めが発生し、どちらの災害に際しましても、地元業者の皆様には所有する機材を活かし、昼夜を問わず道路の啓開活動にあたっていただきましたことをこの場をお借りしましてお礼申し上げます。

自然災害に対する対策、特に、道路の啓開活動には地元の建設業の皆様にお願

安全、安心な生活を守っていくため、引き続き行政との連絡体制等を維持しつつ課題の解消等にご協力いただければ幸いです。

また、今後は更なる広域的な災害の発生も予想されることから、貴協会が中心となって広域的な災害にも対応できるような体制の構築をお願い申し上げます。

結びに、新たな船出を迎えた貴協会の発展を祈念しつつ、住民の生活に必要なインフラを守るため行政と貴協会が互いに知恵を出し合って住みよいまちづくりを進めていきますようご協力をお願いいたします。

一般社団法人西多摩建設業協同組合 過去の思い出

株式会社 島田組 代表取締役 島田 弘道

一般社団法人 西多摩建設業協会 創立おめでとうございます。

長年にわたる業界の皆様方との交流を思い浮かべ、とても懐かしく感謝の心でいっぱいです。父島田泰一は昭和52年5月、昭和59年5月までの間、西多摩建設業協同組合の理事長をさせていただきました。私は昭和59年5月、副理事長をさせていただきました。私は子供のころから組合に、父の代理で出席させていただいておりました。特に、父島田泰一が昭和30年に西多摩村議会議員となり、昭和34年からは羽村町議会議長となり、公務多忙となった関係で、ほとんどの席へ私が代理出席をさせていただいていました。皆様方に、大変お世話になっております。組合のホームページを見て、西多摩土木建築業組合の頃の昔の青梅の事務所

西多摩建設業協同組合の思い出

岩浪建設株式会社 代表取締役会長 岩浪 勝二

社団法人 西多摩建設業協会の発足、おめでとうございます。

私は、前団体西多摩建設業協同組合の役員を数年間に渡り組合活動をさせて頂きました。

私は木村理事長、入江理事長の下で副理事長という大役をさせて頂き、色々と勉強させて頂きました(当時も現在と同様に組合員も多く大変だった事を思い出します)。

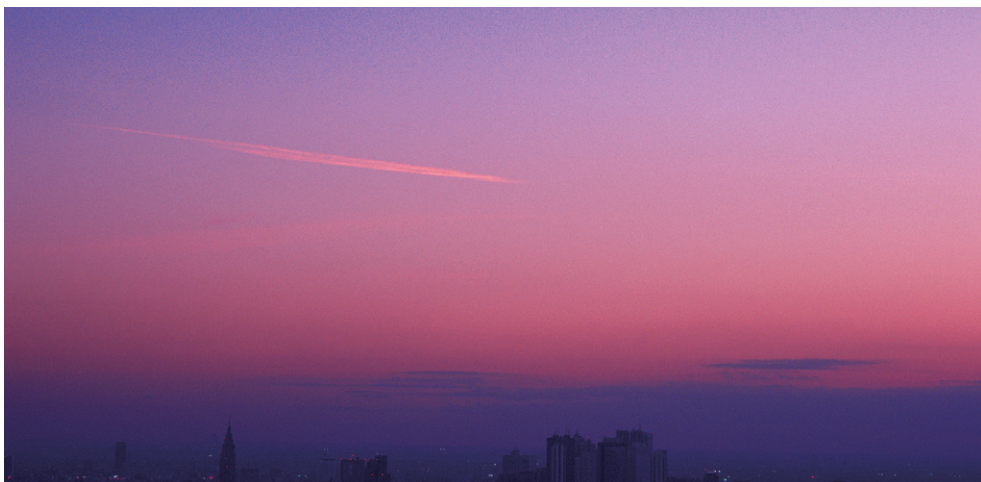
私も西建協の副理事長と青梅建設業協会の会長を受け、週の2、3日は組合員の仕事の調整に当たっていた事、懐かしく思います。

当時、趣味が登山でしたので、日本山岳会の推薦で南米大陸のペルー、ボリビアのアンデス山脈の未登峰、ワイナポトシ峰に初登頂致しました。その時に西建協、青建協の有志の人達に壮行会をして頂いた事の思い出もあります。

また、当時は私も青梅市消防団の団長という要職に付き、連日850人の団員と共に青梅市内の防火、防災活動も従事していました関係で、岩浪建設社長として

われ、その後も、数年で何十回かご馳走になっていきます。岩浪さんを始め、思い出せばきりが無いほど色々な方々にお世話になってきました。組合員同士が非常に仲がよく、若者に親かな会でした。有難うございます。

現在はまた、色々と別の面で進展し、一般社団法人創立となり誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。



一般社団法人西多摩建設業協会発足

株式会社 村尾重機 執行役員会長 小 高 久 明

令和3年4月1日に一般社団法人西多摩建設業協会が発足しました事に誠にありがとうございます。

今回の設立は平成17年9月に当時の西多摩建設業協同組合が中心となり発足した【西多摩地区建設業界暴力団排除協議会】発足以来の大きな業界の改革と思っています。

現在においては建設業を取り巻く環境は非常に厳しい状況になっております。特に深刻な問題は、従業員並びに作業員の高齢化、若者の建設業離れ並びに後継者問題が課題となっております。発注者の方も、週休二日制確保等いろいろ考えて魅力ある建設業作りをして頂いてお

りますが、中々難しい問題点が山積している事が現実であります。

建設業はインフラ整備、災害対策等、地域に於いては無くてはならない業種と思っております。これからも一般社団法人西多摩建設業協会が中心になって協会員の諸問題並びに行政との橋渡し役をお願い致します。

榎森理事長並びに役員の皆様ご苦勞様でした。特に小野事務局長におかれましては尽力して頂きまして、ありがとうございました。最後になりますがコロナ問題が早く終息して堂々と皆様が活躍されることを願っています。

一般社団法人西多摩建設業協会の4月発足に寄せて

佐久間建設株式会社 代表取締役会長 佐久間 一 三

一般社団法人西多摩建設業協会 西建協たよりの令和3年4月号発刊誠にありがとうございます。

西多摩建設業協同組合から一般社団法人西多摩建設業協会への移行が始まりました。

これまでの協同組合から、社団法人へと変わる中で組織の在り方がどう変わるか考えたものです。

協同組合の相互扶助の精神、組合員相互の向上追求の内向きの考え方と、社団法人の社会貢献を中心とした外向きの考え方との折り合いをつけることが肝要で

一般社団法人西多摩建設業協会の発足に寄せて

株式会社酒井組 酒 井 政 修

この度は、一般社団法人西多摩建設業協会の設立、また記念号発刊誠にありがとうございます。

私が昭和50年に建設業へ従事し早いもので47年が過ぎようとしています。私が子供の頃、今は亡き東京機工土木前社長の入江實さんと御岳・玉堂祭りに行き、口数の少ない方でしたが、子供ながらにこの人はかっこいいなと感じ、その頃建設業に憧れを持ち始めました。高校を卒業し、迷わず入江さんのあとにつき、色々教えていただいたことが昨日のように思い出されます。

私が組合に入った当初は、大岡土建興業の岡部さんが理事長で会員は約50社、若い人はあまりおらず、組合へ行くところの先輩方から仕事に関して教えていた

み、地域を災害から守り、地域を発展させるために努力が続けている地域共同体です。ひとたび災害が発生した時には、自発的に出勤し、災害防除、復旧に努めるのが我々の務めです。そのためには地域ごとのより深い理解と、日ごろの備えが必要で、そのことを会員相互が認め合うこと、時には応援しあうことが必要です。現に存在するにした西多摩建設業協同組合と一般社団法人西多摩建設業協会の二つの組織。本音と建前の複雑に絡み合う現在ですが、どのようにしたら、西多摩地域の建設業者が生き延びて発展できるのか、協会として考えて欲しいと思います。

一般社団法人西多摩建設業協会の発足にあたり

成友興業株式会社 代表取締役 細 沼 順 人

だいたり、時に叱られたりと、仕事以外にも勉強になることが多かったのを今でも覚えております。

平成14年より理事となり、2年後の平成16年には私が組合に入った中で一番心に残る出来事が起こりました。それは、西多摩地区で初めての暴力団排除協議会を建立したことでした。その頃、日本人権という団体が西多摩地区の会社を回り、不当要求をし、かなりの迷惑行為が横行していました。そんな中、当時理事長を

務めていた佐久間理事長を中心に青梅警察署に相談し、西多摩の業社を守るために建立しました。この結果、日本人権という団体はすべて逮捕され、その後は安心して仕事ができるようになりました。

人は理不尽な経験をすればするほど鍛えられ、強くなると思います。これから、一般社団法人となり様々な苦勞があるかと思いますが、乗り越えられないものはありませんし、明けない夜もありません。今回の社団法人設立はこれから建設業を支えていく未来の若者たちへ引き継ぐ第一歩だと思います。末筆ではございますが、未来に向けて益々のご発展をお祈りいたします。お互いに協調と協力を合言葉とし、頑張っていきましょう。

発足にあたり

4月1日に一般社団法人西多摩建設業協会が発足しましたことに心より祝意を表します。相互扶助の精神の元、協会員の皆様が協力し合って、今後ますます公益性を高めて多摩地域における一層の役割を担うことを期待いたします。

従来より西多摩建設業協同組合は被災時の大きな役割を果たしてきました。一方で、多摩地域のみならず、日本全国で地球規模で自然災害が年々増加し、また被害の程度が増大している現状に鑑みて、

地域貢献、防災を一般社団法人としてその責務を定款に明記することは時代の要請に応じた的確な対応であるといえます。

地域建設業による災害対策という考え方は江戸時代の火消という制度にも通じ

ています。身体能力の高いとび職を中心に、1万人を超える武家火消、町火消など自治組織が三代將軍家光の時代から変化を遂げながら幕末までの約2,000件にわたる火災の対応にあたっていました。江戸城の天守閣が焼失した1649年の明暦の大火以降、家屋の材料を耐火性が高いものに変え、広小路など防火のための街づくりを施しています。昔から災害には地元の自治組織が大活躍でした。

翻って現代では、令和元年の台風19号は記憶に新しいところですが、翌年の令和2年7月豪雨は令和元年の台風19号を上回る災害が発生させています。平成30年7月豪雨にいたっては令和元年の台風19号の2・5倍以上の災害をもたらして

います。近年では毎年のように大規模な災害が発生しています。

一般社団法人西多摩建設業協会は、8市町村の重要なインフラとして災害対応のみならず、地域の安心安全と発展を築いていく組織として成長することが将来にわたって課された役割です。更には西多摩の持続可能な発展のために多団体と行政とを連携し、人の流れを活性化させるキープレーヤーとしての活躍を大いに期待しています。



—あとがき—

4月特別号の発行にあたり

西建協だよりは平成6年8月5日、西多摩建設業協同組合として第1号を発行しました。それから四半世紀以上、毎月欠かさず発行を続けてまいりました。

さて、この4月1日に一般社団法人西多摩建設業協会が発足し、広報紙の発行も協会で実施することとなりました。協会の活動は協同組合での実績を踏まえるだけでなく、会員の知恵と力を結集していく歴代の意志を引き継ぎ更に充実させて発行してまいります。そこで、その意思を継承する意味も含めて、西建協だよりの発行番号は組合で発行した320に続けていきます。つまりこの号は321号となります（逆さに読むと1、2、3となります）。

また、一般社団法人西多摩建設業協会の定款は、防災、地域貢献など、今まで組合が積み上げてきたことを記し更に充実させることを目指し作成しました。西多摩建設業協会のホームページ（活動報告）2021年4月25日）に定款の全文を掲載しております。

是非、ご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.nishikenkyo.or.jp/>
(1面にQRコード掲載)

なお、社団設立を機にロゴマークを作成しました。併せて紹介します。

今後とも変わらず「西建協だより」へのご支援とご指導のほど、よろしくお願い致します。



西建協

NISHITAMA Construction Association

一般社団法人 西多摩建設業協会
ロゴマーク

広報委員会

委員長	大館 貴之	大館建設工業(株)
副委員長	岡野 恵之	(株)岡野組
副委員長	田村 聖	(株)田村工務店
委員	須田 晶子	(株)酒井組
委員	柴田 靖	朝日建設(株)
委員	木下 智之	(有)北将建設
委員	小池 啓太	小池建設(株)

西多摩建設業協会 会員

奥多摩地区

朝日建設(株)
奥多摩町小丹波8
TEL 0428-85-2037

(株)榎木工業
奥多摩町氷川1165
TEL 0428-83-2544

大館建設工業(株)
奥多摩町日原907
TEL 0428-83-8407

小河内建設(株)
奥多摩町河内435
TEL 0428-86-2250

熊谷建設(株)
奥多摩町氷川1866
TEL 0428-83-2428

小池建設(株)
奥多摩町氷川727-1
TEL 0428-83-2257

佐久間建設(株)
奥多摩町小丹波45
TEL 0428-85-2121

清水土木建設(株)
奥多摩町棚沢795-3
TEL 0428-85-8657

青梅地区

井戸鉄建(株)
青梅市今井3-6-17
TEL 0428-31-0111

岩浪建設(株)
青梅市長淵7-318
TEL 0428-22-6241

(株)酒井組
青梅市二保尾3-843-6
TEL 0428-78-9333

昭和建設(株)
青梅市新町7-9-3
TEL 0428-31-6181

松建工業(株)
青梅市東青梅3-21-31
TEL 0428-23-1775

(株)多摩組
青梅市成木6-88
TEL 0428-74-5234

東京機工土木(株)
青梅市駒木町3-580-3
TEL 0428-24-1135

(株)丸専土建
青梅市塩船4-6
TEL 0428-22-6418

(有)宮崎土木
青梅市長淵4-1348-1
TEL 0428-23-5464

(株)最上建工
青梅市新町1-24-25
TEL 0428-30-0310

羽村地区

(株)上野組
羽村市緑ヶ丘2-4-70
TEL 042-554-1769

(株)興栄
羽村市羽加美3-4-32
TEL 042-554-6806

(株)島田組
羽村市神明台2-4-39
TEL 042-578-2111

鈴木土建(株)
羽村市神明台1-3-6
TEL 042-554-2414

(株)田村工務店
羽村市緑ヶ丘5-1-3
TEL 042-554-5207

戸高建設(株)
羽村市羽西1-6-40
TEL 042-555-6975

(有)北将建設
羽村市栄町1-8-97
TEL 042-578-9530

(株)村尾重機
羽村市小作台5-17-3
TEL 042-554-0323

望月建設(株)
羽村市川崎1-11-6
TEL 042-554-6360

瑞穂地区

(有)幸心興業
瑞穂町箱根ヶ崎西松原39-6
TEL 042-556-3719

あきる野地区

(株)岡野組
あきる野市草花2009
TEL 042-558-1700

(株)上坂重機開発
あきる野市菅生951
TEL 042-558-6631

成友興業(株)
あきる野市草花1141-1
TEL 042-558-4111

(株)高丘組
あきる野市引田333
TEL 042-558-7743

土屋建設(株)
あきる野市平沢781-1
TEL 042-558-3297

(株)馬場組
あきる野市五日市48
TEL 042-596-0050

(株)フジワラ技建
あきる野市三内259
TEL 042-596-1206

大倉企業(株)
あきる野市下代継181
TEL 042-550-2811

(株)高木造園
あきる野市野辺399-7
TEL 042-559-3803

日の出地区

日の出興業(株)
日の出町大久野2455-1
TEL 042-597-0814

(株)島田
日の出町平井3451-1
TEL 042-597-0446

檜原地区

草間工業(株)
檜原村101
TEL 042-598-0245

高木建設(株)
檜原村1961
TEL 042-598-6508

(株)武田組
檜原村1393
TEL 042-598-6011

西多摩建設業協会 賛助会員

アーバン建材工業(株) 青梅市河辺町10-4-16 TEL 0428-20-1320	(株) 三 双 運 輸 羽村市小作台5-17-3 TEL 042-554-0321	司 産 業 (株)多摩営業所 あきる野市雨間254-6 TEL 042-550-4004	コベルコ建機日本(株)関東支社東京北営業所 埼玉県さいたま市桜区田島9丁目21番15号 TEL 048-710-7550
(株)アクティオ青梅営業所 日の出町大久野玉ノ内7814-2 TEL 042-597-3231	サ ン コ ー 機 材 (株) 昭島市田中町1-36-12 TEL 042-543-8811	東京日野自動車(株)瑞穂支店 瑞穂町殿ヶ谷446-1 TEL 042-557-6071	福生コンクリート工業(株) 福生市福生3256 TEL 042-551-1521
(株) ア サ ヒ 羽村市羽中3-6-15 TEL 042-555-4045	三 研 プ ラ イ ズ (株) 府中市西府町1-33-4 TEL 042-360-2377	東京プロビジョン(株) 立川錦町3-2-25 TEL 042-548-7673	フリー工業(株)東京支店 台東区東上野1-3-1 TEL 03-3831-8085
(有) 麻 生 マ ー ク 福生市熊川523 TEL 042-552-9541	(株)昭和石材工業所 青梅市新町9-1998 TEL 0428-31-9400	東京レンタル(株)多摩営業所 立川錦町3-2-25 TEL 042-565-5611	(株)VOLLMONTセキュリティサービス 青梅市新町1-5-5 TEL 0428-32-8777
(株)伊藤園青梅支店 羽村市小作台4-11-1 TEL 042-579-6911	(株)シ ン セ イ 羽村市富士見平2-1-17 TEL 042-570-7722	(株)中村建材工業 あきる野市雨間322-1 TEL 042-558-0028	マテラス青梅工業(株)青梅営業所 青梅市今寺5-13-9 TEL 0428-31-7001
(株)エコワスプラント 西多摩郡日の出町平井22-10 TEL 042-588-0072	(有) 新 富 重 機 羽村市栄町2-7-17 TEL 042-555-4810	共同企業体西多摩アスコン 日の出町大久野字玉の内7918-1 TEL 042-588-7109	丸 順 商 事 (有) 羽村市富士見平2-1-14 TEL 042-554-2229
(株)エ コ ワ ス 立川市柴崎町3-13-19 TEL 042-525-1911	新町クリニック健康管理センター 青梅市新町3-53-5 TEL 0428-31-5301	西多摩コンクリート(株) 日の出町平井8-11 TEL 042-597-3724	(有) 丸 善 産 業 瑞穂町箱根ヶ崎西松原57-1 TEL 042-554-5929
(有) 梶 浦 工 業 東大和市清水2-818-13 TEL 042-565-6899	成友セキュリティ(株) 福生市福生699-3 TEL 042-551-1000	日本キャタピラー合同会社 羽村市羽4184-1 TEL 042-554-3421	(株) 水 野 建 材 青梅市千ヶ瀬町1-4 TEL 0428-22-3691
(株)カ シ ワ 青梅市新町4-19-9 TEL 0428-32-0678	セフテック(株)西関東営業所 八王子市下恩方町315-4 TEL 042-651-8427	日 本 リ ー ス 工 業 (株) 瑞穂町長岡下師岡392 TEL 042-556-5111	ムサシ建設工業(株) 台東区東上野1-24-2 TEL 03-3835-3631
(株)加藤建設工業東京支店 青梅市東青梅2-16-5 TEL 0428-78-3324	そうしんホール青梅 青梅市末広町1-2-1 TEL 0428-32-4444	日 建 学 院 立 川 校 立川市錦町1-1-23 東京都酒造会館3F TEL 042-527-3291	(株) 明 商 新宿区市谷八幡町13 TEL 03-3269-8561
(株)木 下 商 会 武蔵村山市残堀4-31-1 TEL 042-560-4311	(株)高野保険事務所 青梅市新町4-19-7 TEL 0428-31-1439	(株)八 王 子 鈴 機 八王子市高月町477 TEL 042-692-5555	(有) ユ ニ シ ス テ ム 青梅市河辺町4-5-3 TEL 0428-78-3125
(株)交 運 社 福生市福生654 TEL 042-551-0541	(株)タ ク ト 杉並区荻窪4-26-10 TEL 03-3220-8400	東日本建設業保証(株)新宿支店 新宿区西新宿1-25-1 TEL 03-3340-2451	(株)レンタルのニッケン八王子営業所 八王子市戸吹町104-1 TEL 042-692-0211

敷鉄板、プラシキ、ゴムマット・レンタル  株式会社 八王子鈴機 八王子市高月町四七七 電話 〇四二一六九二一五五五 FAX 〇四二一六九二一五四二二	落石対策・法面保護工事 株式会社 明 商 新宿区市谷八幡町十三 電話 〇三三三六九一八五六一 FAX 〇三三三六九一八五六五
建設仮設資材 レンタル・販売 日本リース工業株式会社 代表取締役 高野明弘 瑞穂町長岡下師岡三九二 電話 〇四二一五五六一五一一 FAX 〇四二一五五六一五一一四	コンクリート二次製品、製造販売 *エコセメント100%使用 マテラス青梅工業株式会社 青梅市今寺五一一三一九 電話 〇四二八一三一一七〇〇一 FAX 〇四二八一三一一六九四〇
有限会社 丸 善 産 業 代表取締役 小林勇二 瑞穂町箱根ヶ崎西松原五七一 電話 〇四二一五五四一五九二九 FAX 〇四二一五五七一六一八	株式会社 エコワスプラント 代表取締役 浅尾洋和 日の出町平井二二一〇 電話 〇四二一五九七一一一五 FAX 〇四二一五九七一五五五
住宅設備機器総合商社 サンコー機材株式会社 代表取締役 向山英雄 西多摩支店 羽村市羽加美一七七一 電話 〇四二一五五四一五五五 秋川支店 あきる野市瀬戸岡四二五一八 電話 〇四二一五五四一五五五 FAX 〇四二一五五四一五五五	株式会社 水野建材 代表取締役 水野忠裕 青梅市千ヶ瀬町一丁目四番地 電話 〇四二八一三一一三六九一 FAX 〇四二八一三一一三九三二
印刷全般・事務機取扱 株式会社 アサヒ 代表取締役 小林貴純 羽村市羽中三一六一一五 電話 〇四二一五五四一四〇四五 FAX 〇四二一五五四一八四五七	建設機器・測器。IT機器のレンタル 株式会社 レンタルのニッケン八王子営業所 八王子市戸吹一〇四一 電話 〇四二一六九二一〇二二一 FAX 〇四二一六九二一〇二二四
生コンクリート製造販売 株式会社 中村建材工業 代表取締役 中村 孝 日の出工場 日の出町平井二二一八 電話 〇四二一五九七七一〇五五 FAX 〇四二一五九七七一〇三三	株式会社 伊藤園 青梅支店 支店長 鈴木 陽 羽村市小作台四一一一一 電話 〇四二一五七九一六九一一 FAX 〇四二一五七九一六九七〇